

授業科目	卒業制作 I	講義	実技	演習	単位時間352 単位22	前期	後期
教科担当	岡本佳・櫻庭・槌谷・前原						
授業クラス 学年	デザイン学科 造形デザインコース 2年 組	担任		山本晋也			
授業の概要	造形デザインコースで2年間学んだことの集大成としての作品制作。3つの課題から1課題を各自が選択し制作をする。 造形物を制作する。 選択課題内容 選択課題A・プロダクトデザイン テーマは各自が設定しプロダクトデザインを実施。作品のボリュームは最低限B1パネル1枚・モデル1個 選択課題B・アクセサリデザイン テーマは各自が設定しアクセサリデザインを実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル10個 選択課題C・フィギュア造形 テーマは各自が設定しフィギュア造形を実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル2個						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (コンセプト作成・アイデアの展開)</li> <li>2. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (コンセプト作成・アイデアの展開)</li> <li>3. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (コンセプト作成・アイデアの展開)</li> <li>4. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成)</li> <li>5. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成)</li> <li>6. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成)</li> <li>7. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>8. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>9. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>10. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>11. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>12. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>13. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>14. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>15. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認 (立体物制作作成)</li> <li>16. 卒業制作プレゼンテーション</li> </ol>						
使用テキスト 教材等	各課題必要時、資料プリント配布。						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。 科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	必要な画材や材料は事前に購入のこと 計画的に作業を遂行すること						

授業科目	卒業制作Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間64 単位 4	前期	後期
教科担当	山本晋・櫻庭						
授業クラス 学年	デザイン学科 造形デザインコース 2年 組	担任		山本晋也			
授業の概要	<p>造形デザインコースで2年間学んだことの集大成としての作品制作。3つの課題から1課題を各自が選択し制作をする。 ディスプレイを中心に制作する 選択課題内容 選択課題A・プロダクトデザイン テーマは各自が設定しプロダクトデザインを実施。作品のボリュームは最低限B1パネル1枚・モデル1個 選択課題B・アクセサリデザイン テーマは各自が設定しアクセサリデザインを実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル10個 選択課題C・フィギュア造形 テーマは各自が設定しフィギュア造形を実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル2個</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>2. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>3. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>4. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>5. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>6. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>7. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>8. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>9. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>10. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>11. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>12. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>13. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>14. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>15. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（ディスプレイ計画・制作）</li> <li>16. 卒業制作のプレゼンテーション</li> </ol>						
使用テキスト 教材等	各課題必要時、資料プリント配布。						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点（各100点満点）の総合計を課題数で割った平均とする。 科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D（不合格）とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	必要な画材や材料は事前に購入のこと 計画的に作業を遂行すること						

授業科目	卒業制作Ⅲ	講義	実技	演習	単位時間64 単位 4	前期	後期
教科担当	櫻庭						
授業クラス 学年	デザイン学科 造形デザインコース 2年 組	担任	山本晋也				
授業の概要	造形デザインコースで2年間学んだことの集大成としての作品制作。3つの課題から1課題を各自が選択し制作をする。 プレゼンテーションパネルの作成を行う。 選択課題内容 選択課題A・プロダクトデザイン テーマは各自が設定しプロダクトデザインを実施。作品のボリュームは最低限B1パネル1枚・モデル1個 選択課題B・アクセサリデザイン テーマは各自が設定しアクセサリデザインを実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル10個 選択課題C・フィギュア造形 テーマは各自が設定しフィギュア造形を実施。作品のボリュームは最低限B2パネル1枚・モデル2個						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>2. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>3. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（コンセプト作成・アイデアの展開）</li> <li>4. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>5. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>6. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（アイデアの確認と設計製図又は制作製図の作成）</li> <li>7. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>8. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>9. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>10. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>11. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>12. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>13. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>14. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>15. 個別にミーティングを行い進捗状況と内容の確認（プレゼンパネルの作成）</li> <li>16. 卒業制作プレゼンテーション</li> </ol>						
使用テキスト 教材等	各課題必要時、資料プリント配布。						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点（各100点満点）の総合計を課題数で割った平均とする。 科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D（不合格）とする。						
履修にあたっての 留意点	必要な画材や材料は事前に購入のこと 計画的に作業を遂行すること						